



子どもたちの学びを支える学校図書館に

小・中学校11校に学校司書を配置しました。



松ノ木中学校司書 森岡千代さんと生徒たち

学校図書館が、学習センター、読書センターとしての役割や機能を十分に果たせるよう、子どもと本をむすびつける専門家、「学校司書」を区立小・中学校11校に配置しました。先生方や図書ボランティアの方々との連携のもと、学校図書館（図書室）の活用を推進していきます。

学校司書配置校

小学校：杉並第三、東田、四宮、方南、久我山、天沼

中学校：高南、松溪、荻窪、松ノ木

小中一貫：和泉小・新泉小・和泉中

☆1日6時間、週5日の勤務です。（毎日学校図書館にいます!）

学校司書って何をする人?

本や資料を整理して、必要なときに探しやすいようにします。

読みたい本が見つからないとき、本の紹介をしたり、探すお手伝いをしたりします。

授業に使う本や資料を集めたり、図書館の使い方の説明をしたりするなど、授業のお手伝いをします。

読み聞かせや本の紹介により、本の世界や読書の楽しさを伝えます。

図書委員の活動や、学校行事活動の手助けをします。

学校図書館で待っています!

— 久我山小学校司書 原田百合枝さん

学校司書になる前から、久我山小で図書ボランティアをしていた原田さん。学校図書館整備とともに、読み聞かせや本の紹介など、読書活動も盛んに行ってきました。「最初は落ち着いて聞いていられなかった子どもたちが、読み聞かせを続けるうちに、熱心に聞き入るようになったんです」と原田さんは嬉しそうに話してくれます。

今回行ったのはブックトーク（※）。まるでひとつの物語のようになめらかに流れていく話の中で、次々と素敵な本が紹介されていきます。子どもたちは話に引き付けられながらも、話に出てきた本が読んでみたくて仕方ありません。ブックトークが終わった後、紹介された本にみんながいっせいに駆け寄りました。

「子どもたちに『本ってこんなに楽しいんだ』と感じてもらえるような、そして先生方にも信頼されるような学校図書館にしていきたい」という原田さん。今日も久我山小の学校図書館で明るく子どもたちに声をかけています。

※ブックトークは、一つのテーマに沿って、話し手が、順序良く数冊～十数冊の本を紹介していきます。読み聞かせとは違い内容をすべて話すのではなく、「おもしろそう」「続きを読みたい」と子どもたちにその本への興味を持たせるのが目的です。テーマと本の選択、シナリオ作成など、司書の知識・経験が十分に活かされる「技術」といえます。



本を通して笑顔が広がっていきます

問合せ：済美教育センター ☎3311-0021

👉 知る 没後30年特別展 大田黒元雄の足跡 —西洋音楽への水先案内人—

ドビュッシー、シェーンベルクなど、同時代の西洋音楽を日本に紹介した音楽評論家、大田黒元雄。区立大田黒公園にもその名を残しています。没後30年にあたる今年、音楽だけではなく多方面で活躍した大田黒の著作や写真などを紹介、その業績を振り返ります。講演会やレコードコンサートなどの行事もあります。詳しくは広報すぎなみや、郷土博物館ホームページをご覧ください。会期：10月17日（土）～平成22年1月11日（月・祝）午前9時から午後5時（休館日は毎週月曜日、毎月第3木曜日）観覧料：100円（中学生以下は無料） 問合せ：郷土博物館 大宮1-20-8 ☎3317-0841

緑豊かな大田黒公園▶



「区立幼稚園の改革方針」を策定しました

○ このたび区及び教育委員会は、「杉並区自治基本条例」に基づく区民等の意見提出手続きを経て、区立幼稚園を、区独自の幼保一体化施設である（仮称）子供園として発展的に転換を図ることを内容とする改革方針を策定しました。

○ 現在、幼児を取り巻く環境は、核家族化の進行や共働き世帯の増加、地域社会のつながりの希薄化など、大きく変化しています。こうした中で、第一に区内の幼稚園は区立・私立ともに、全体として定員割れの状況が続いていること、第二に昨年来の経済危機の影響等により保育需要が急増しており、とりわけ3歳児からの保育の受け皿づくりが急務となっていること、第三に幼稚園の保育時間の延長を望む声や、保育園での十分な幼児教育の実施を求める声が多くなるなど、保護者のニーズにも変化が見られます。

【(仮称) 子供園の概要】

目的・性格	●保護者が働いている、いないに関わらず、子供を受け入れ、幼稚園教諭・保育士が専門性を生かしながら相互に連携・一体となり、教育と保育を融合して幼児を育成 ●従来の区立幼稚園・保育園における幼児教育を基礎とした区独自の育成プログラムを開発・実施し、その成果を保育施設等に普及拡大
設置根拠	区条例により設置（学校教育法上の幼稚園認可は継承）
クラス編制等	原則として、3歳児～5歳児各1クラス（定員は、3歳児18名、4・5歳児各35名）
事業内容	●施設の開設時間は、7時30分から18時30分とし、 ①長時間の保育を必要とする幼児に、保育サービスを提供（規模は、各歳児定員の半分程度。土曜日と夏休みなど長期休業中を含む） ②すべての園児が在園するコアタイム（9時～14時）には、幼児教育を実施 ●すべての子育て家庭を対象に、子育て不安等に対する相談活動や親子の遊び場・交流事業など、地域における多様な子育て支援事業を積極的に展開
スタッフ体制	1クラスに幼稚園教諭と保育士を配置

（仮称）子供園は、これらの環境の変化に適切に対応するため、保護者の就労形態に関わらず、3～5歳の幼児を同じ就学前の子供として受け入れ、区独自の育成プログラムの下で、幼稚園教諭と保育士がそれぞれの専門性を生かして幼児を育成する、新たな幼保一体化施設として創造するものです。

○ (仮称) 子供園への転換は、園ごとに取り巻く状況が異なる実態などを踏まえ、次のとおり、平成22年度以降の3年間で段階的に行う考えです。なお、転換後3年間はコアタイム枠（従来の幼稚園枠）の割合を拡大することや、来年度に転換予定の2園に係る入園募集時期は11月上旬とするなど、必要な経過的対応を図っていきます。

- ◆22年度＝下高井戸幼稚園、堀ノ内幼稚園 ※転換する前年度の入園募集は、原則として3・4歳児各1クラスで実施します。
- ◆23年度＝成田西幼稚園、高円寺北幼稚園 ※高円寺北幼稚園は、施設規模等から、転換後のクラス編制を4・5歳児各1クラス編制とします。
- ◆24年度＝高井戸西幼稚園、西荻北幼稚園

問合せ：学務課幼児教育担当

「杉並区小中一貫教育基本方針」を策定しました

教育委員会は、義務教育9年間を通して児童・生徒の学びの連続性を保障した教育活動を推進するため、「杉並区小中一貫教育基本方針」の策定について、検討を進めてきました。策定にあたり、ホームページなどで方針案を公表し、「杉並区自治基本条例」に基づく区民等の意見提出手続きにより、広く皆さんからのご意見をお聞きし、それらを踏まえて必要な修正を行い、策定しました。

問合せ：教育改革推進課

上記2つの方針の全文と、「杉並区自治基本条例」に基づく区民等の意見提出手続きによりいただいたご意見の概要については、区ホームページ及び教育委員会ホームページのほか、各担当課、区政資料室（西棟2階）、区政相談課（東棟1階、土・日のみ）区民事務所・分室、駅前事務所、図書館でご覧になれます。

学校支援本部探訪 杉並第七小学校

地域から学校へ、学校から地域へ — 芝生ジャンボリー

もともと「地域が学校を支える」という思いの強い杉七地域。あさのおはなし会、図書室整理、おやじの会なども、「学校支援本部」となる前から活動していました。それもあって、各支援チームがそれぞれ自立し充実した活動を行っているのが杉七の学校支援本部の強みといえます。

その中で「算数の杉七」を支える、「わく算教材作成チーム（パズルや魔方陣など、算数を楽しんで学習できる教材を作成するチーム）」が、阿佐谷青少年育成委員会（龍前会長・写真右）の主催するイベント、「芝生ジャンボリー」に取り組みます。校庭芝生で算数レストラン（子どもたちがわく算教材を作ったり披露したりします）を行うという試みです。

「芝生」と「算数」。あまりつながりが感じられ



算数レストランのメニューを作成中。

ませんが、どちらも杉七自慢のものです。その二つを一度に地域の方々に発信できる機会はそうあるものではありません。わく算教材作成チームも、子どもたちと一緒に「成功させるぞ！」と気合十分です。

各支援チームの連絡調整（本部）機能の強化が課題だと市村本部長（写真・左から2番目）は言いますが、芝生ジャンボリーに象徴されるように、学校支援本部の活動の幅が広がってきているようです。これは高槻校長（写真・左）の「学校支援本部を通して学校を『学習の成果が活かせる場』としたい」という思いにもつながっている気がします。

さて、気になる芝生ジャンボリー当日の様子は、教育委員会ホームページ「学校のできごと」をご覧ください！

0へ知る➡ ゆうライン—お父さん・お母さんへ

日々の子育てが、「かわいい!」「楽しい!」でいっぱいならばそれに越したことはありませんね。でも、時には怒りや悲しみ、寂しさを感じ、不安に陥ることもあるかもしれません。「誰にも相談できない!」とってしまうことも…

そんなとき、ゆうラインを思い出してください。Web検索でも出てきます。お子さんの成長と、それに伴うお父さん・お母さんの悩みをちょっとだけでも、話してみませんか。相談は電話でも、来所でも可能です。

いいたい・ききたい・なんでも話そう

ゆうライン

杉並区子ども家庭支援センター
☎ 5929-1901

理科が好き。～理科支援員の配置～

人体模型、フラスコ、ピーカー、電流計、上皿てんびん、様々な薬品。理科室には、多くの観察・実験器具が並びます。理科の時間、先生はそれら器具の準備と片付けに追われながらも、子どもたちの理科への興味・関心を高められるような授業の進め方を工夫しようと努力しています。理科支援員はそんな忙しい先生の授業や、準備・後片付け、理科室の整理などの支援を行います。現在区立小学校7校で7名が配置されている理科支援員は、みな自ら「理科が好き」で、そして子どもたちにも「理科が好き」と言ってもらいたい人たちが集まっていますが、今回はその中から二人の「理科好き」の紹介です。

■ 杉並第九小学校 山木浩子さん

山木さんは、大学で化学を勉強していた根っからの理科好きです。授業もここに子どもたちを見守り、試験管が必要になるとさっと準備して、授業の進行が滞らないよう、気を配ります。授業を終え、先生が次の授業に行ったあと、器具を片付けながら、「杉九は好奇心が旺盛な子どもが多いですね。理科は日常生活に即したものです。子どもたちが理科を通して日常のできごとやものごとへの興味を持つこと、そして楽しむことを覚えてくれたら嬉しいですね。」と話してくれました。



■ 桃井第四小学校 齋藤千尋さん

「授業の支援をすることで、子どもたちはもちろん、先生方にも理科の楽しさ、おもしろさを感じてもらえたら」と齋藤さん。山崎先生との絶妙なチームワークで「水溶液の性質」の授業を終えると、黒板に鉱物の結晶写真を貼り、「今日は鉱物の洗い出しだよ」。20分休みに開催の「おもしろサイエンス」は齋藤さんの企画です。顕微鏡で鉱物の結晶を覗く子どもたちも、それを見守る齋藤さんも笑顔であふれています。「理科は苦手だけど好きだった」齋藤さんのパワーは桃四の「理科好き」をより大きく育てていきます。



問合せ：済美教育センター ☎ 3311-0021

がっこう だがしや楽校まもなく開校

すぎなみ大人塾「だがしや楽校を開こう!～新たなつながりと集いの場が未来をつくる!」

所狭しと菓子や玩具が並び、店先では子どもたちがベーゴマや面子を競い、菓子を分け合い、店のあばあちゃんと話している。今や懐かしい風景となった駄菓子屋は、特に子どもたちにとってのコミュニケーション形成の場であり、もうひとつの学校（楽校）であつたに違いありません。そんな駄菓子屋のもっていた、雑多で活気のある地域の“たまり場”としての要素を現代に再現し、コミュニケーションの場にしようと、大人たちがああでもない、こうでもない話し合っています。そんな楽しそうな大人の学び場。



それが、すぎなみ大人塾（※）です。もともと「何かをやりたい!」「地域を楽しみたい!」と集まった人々から、アイデアの枯渇とは無縁です。物売る市場的要素のほか、見せる、体験してもらう屋台＝自分見せ（店）で関わりを深められるよう、噴出したアイデアを整理し、実現させるために、まだまだ大人たちのあつ〜い!!話し合いは終わりそうにありません。

すぎなみ「だがしや楽校」は11月7日（土）午前11時～午後3時に妙法寺（堀ノ内3-48-8）で開く予定です。ただいま、大人も子どもも楽しめる屋台（カフェや昔遊び・ものづくりの体験ブースなど）を計画中。皆様のお越しをお待ちしております！（詳細は広報すぎなみやチラシなどでお知らせします。）

問合せ：社会教育センター ☎ 3317-6621

教育委員会の動き

21年6月～21年9月

【教育委員会開催状況】

- ・定例会 8回
- ・臨時会 0回
- ・議案 15件
- ・報告事項 19件

【主な案件】

- ◎は審議、○は報告事項
- ◎ 杉並区立中学校において使用する教科用図書（平成22年度～23年度使用）の採択について
- ◎ 「杉並区小中一貫教育基本方針」の策定について

教育委員会は、毎月第二・四水曜日に開催され、必要に応じて臨時会を開催しています。平成21年6月から9月の主な議案・報告事項は下記のとおりです。

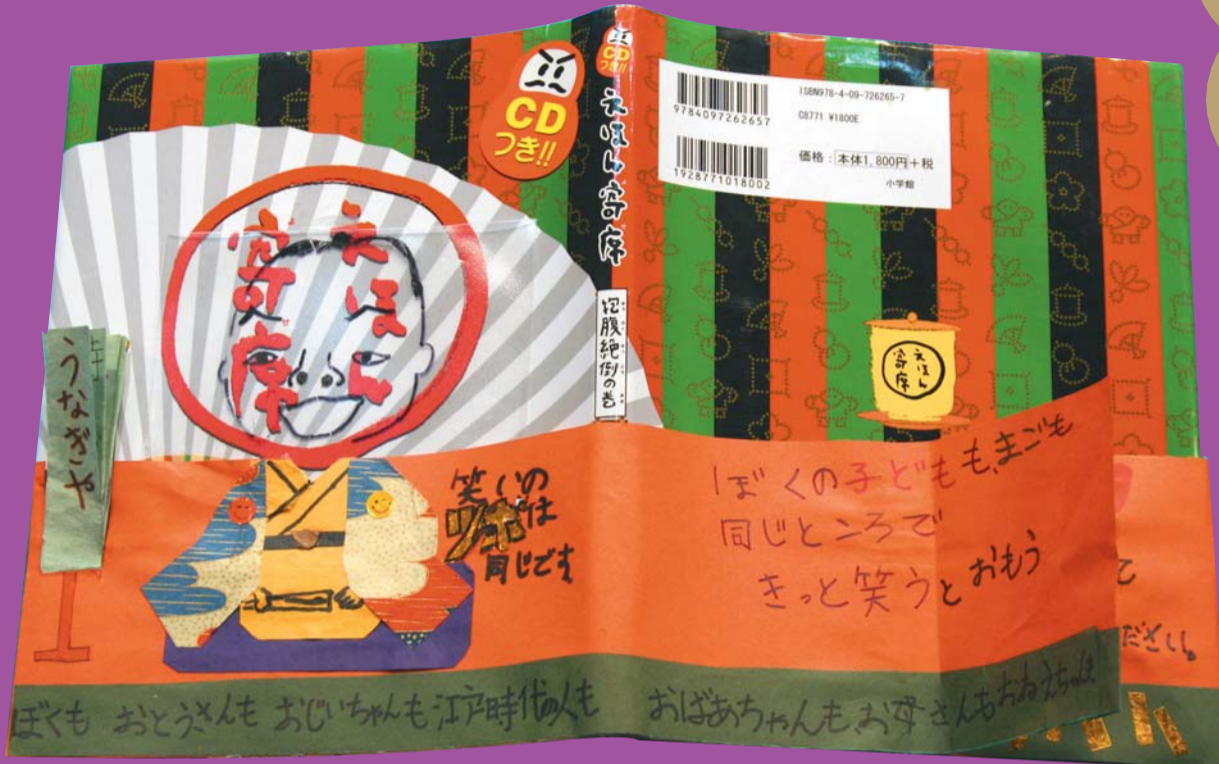
- 「区立幼稚園の改革方針」の策定について
- 大宮前体育館移転改築工事の基本設計と今後の進め方について
- 第10期「杉並区社会教育委員の会議」報告書について
- 今後の地域図書館の運営について
- 小・中学校への学校司書の配置について
- 平成21年度学校支援本部新規設置校への財政支援について
- 平成21年度 全国学力・学習状況調査結果：速報値
- 平成21年度 杉並区学力調査、意識・実態調査結果

0へ知る➡ ゆうライン—小学生・中学生のみなさんへ

学校のこと、クラスのこと、友だちのこと、家族のこと、そして自分のことで「こまったな」「どうしよう」と思ったら？それが、お父さんお母さん、友だちや先生に話にくいなと思ったら？ゆうラインに相談してみてください。名前はいわなくてもだいじょうぶですし、とちゅうでイヤになったら電話を切ってもいい。うまく話せないかも、なんて心配する必要はありません。ゆっくりと、思いつくことからはじめましょう。気持ちがすっきりするきっかけになるかもしれませんよ。

本をもっとおもしろくするのは キミのアイデアだ!

第6回 すぎなみ本の帯アイデア賞作品募集



昨年の大賞受賞作。「何年もの間ずっと人を笑わせ続けている落語ってすごいと思ったんだ」と制作動機を話してくれた馬橋小3年生(当時2年生)の岩淵悠真くん。本の中身を的確に表したキャッチコピー、様々な仕掛けで文句なしの大賞でした。



その本が読みたくなるような帯広告を作成し、本にかけて提出してください。用紙の種類、字体、字数は自由です。短い文だけでなく、絵、写真などを入れてもかまいません。なお、応募はひとり一点で、未発表のものに限ります。

- 応募期間**：平成21年11月1日(日)～11月15日(日) 必着
- 応募資格**：区内在住・在学・在勤の小学生から18歳までの方
- 応募方法**：応募用紙(区立図書館にあります)を添えて、中央図書館にお持ちください。
郵送でも可(〒167-0051 杉並区荻窪3-40-23)

☆審査委員：泉麻人(コラムニスト)、高島那生(絵本作家)、広瀬道子(児童書編集者)、松塚しのぶ(コピーライター)
※12月中旬、中央図書館で入賞作品の展示会を行います。 ※応募いただいた作品は後日返却いたします。

中学生が使う教科用図書が決まりました

平成21年8月12日(水)に開かれた教育委員会定例会において、区立中学校で平成22年度から23年度まで使用する教科用図書が以下のとおり採択されました。採択された教科用図書の見本本は済美教育センターで常時閲覧することができます。 問合せ：済美教育センター ☎3311-0021

平成22～23年度使用 中学校教科用図書

種目	出版社	書名
国語	光村図書出版	国語
書写	光村図書出版	中学書写
地理	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界のなかの日本 初訂版
歴史	扶桑社	中学社会 改訂版 新しい歴史教科書
公民	日本文教出版	中学社会 公民的分野
地図	帝国書院	新編 中学校社会科地図 初訂版
数学	東京書籍	新編 新しい数学
理科第一	東京書籍	新編 新しい科学 1分野
理科第二	東京書籍	新編 新しい科学 2分野
音楽一般	教育出版	中学音楽 音楽のおくりもの
音楽器楽	教育出版	中学楽器 音楽のおくりもの
美術	日本文教出版	美術
保健体育	学研教育みらい	新・中学保健体育
技術	東京書籍	新編 新しい技術・家庭 技術分野
家庭	開隆堂出版	技術・家庭 家庭分野
英語	東京書籍	NEW HORIZON English Course

インフルエンザにご注意を!

9月以降、インフルエンザの発生が急激に増えています。一人ひとりが予防に努め、感染の拡大を防止しましょう。

○外から帰ったら、手洗い・うがい



手洗いは石けんを使い流水で30秒間。外から帰ったときや、食事の前に行うことが大切です。うがいは、のどの中に入ったウィルスを外に出し、湿気を保ち感染を予防します。

○規則正しい生活・十分な休養・

バランスの取れた食事と適切な水分の補給



体力や抵抗力を高めましょう。疲れがたまっていたり、体調が悪いと、抵抗力が弱まるため感染しやすくなります。

○咳エチケット



咳やくしゃみをするときは人のいない方向を向いたり他の人から離れましょう。ハンカチやティッシュで口と鼻を覆えばウィルスが舞い上がる量が減ります。のどが痛いとき、咳が出るときは不織布のマスクを。他の人への感染を減らせます。

▶知る



この庚申塔はどこにある? ミニ写真展「すぎ丸がゆく 杉並史跡めぐりの旅」一郷土博物館 三年坂?庚申堂?不動跡? 全てすぎ丸のバス停名です。何でこんな名前?と思ったら郷土博物館へ。すぎ丸路線(けやき・さくら・かえで)近くに点在する史跡・文化財のきれいな写真が路線とともに紹介されています。すぎ丸に乗っているだけでは気づかないものが多く、「こんなところにこんなものが」と驚くこと請け合いです。入館料はすぎ丸と同じ100円(中学生以下無料)。郷土博物館で予習したら、今度は本物のすぎ丸に乗って、のんびりと歴史散策をしてみませんか?あ、散策のときは「杉並区史跡散歩地図」を忘れずに。(写真展は11月29日まで) 開館時間：午前9時～午後5時 休館日：毎週月曜・第三木曜(祝日・休日の場合は翌日)

●再生紙を使用しています